

# 気泡工法研が発足

## 地中連続壁など施工費低減

土に気泡、水を添加して練り混ぜた気泡混合土によって地盤掘削を行う「気泡工法」(アワード工法)の普及を目指し、建設関連企業が2月26日、早稲田大の支援を得て「気泡工法研究会」を発足させた。今後、建設工事の環境負荷を抑え、施工費を低減できる工法の特徴を広くアピールしていくとともに、技術レベ



気泡工法によってソイルセメント地中壁を構築する様子

ルの向上を図っていく。会長には秋場俊一(戸田建設常務執行役員)氏が就任し、事務局は大洋基礎工業内に置く。

同工法は早大理工学術院の赤木寛一教授らの基礎研究を基に、建設会社や材料メーカーが実用化した。気泡混合土は流動性と止水性が増加し、密度が減少する特性を持つ。さらにソイルセメント地中連続壁などの施工時の安定液として利用できる。

具体的には▽気泡安定液を使用して等厚式ソイルセメント地中連続壁を構築する「アワードトレンド工法」▽気泡安定液を使用して柱列式ソイルセメント地中連続壁を構築する「アワードシーシ」▽ダブルリース、フローリック。

高吸水性ポリマー安定液工法「アワードサブリ工法」がある。会員企業は次の通り。▽特別会員 大洋基礎工業、戸田建設、ハザマ、前田建設、マクマ▽正会員 青山機工、三東工業社、とがわ商事、ミヤマ工業、菱備基礎▽賛助会員 KGFフロートクノ、ソータニッカ、双葉リース、フローリック。

高吸水性ポリマー安定液工法「アワードサブリ工法」がある。会員企業は次の通り。

泡安定液を使用して柱列状の改良杭や液化化防止の地中連続壁を構築する深層地盤改良工法「アワードトレンド工法」▽現場打ち杭やコンクリート地中連続壁などの地盤掘削置換型工法を改善す

25.3.1

日刊建設工業新聞 (3)

# 気泡工法研究会が発足

## 適用拡大へ応用研究

設計 戸田建設 会長 秋場俊一氏

地盤掘削工法である「気泡(AWARD)工法」の普及と技術開発の推進を目指し、気泡工法研究会が発足した。早稲田大学のバックアップの下、建設業者が中心となって2月26日に設立総会を開き

写真、会長には戸田建設の秋場俊一常務執行役員土木営業統轄部長が就任した。



気泡工法は、土に気泡と水を添加、練練した気泡混合土を安定液として使用し、ソイルセメント地中連続壁などを構築する施工技術で、環境負荷や施工費の低減に寄与する。その基礎理論は、赤木寛一(早大理工学術院教授)らによる基礎研究から生まれ、実際の現場に適用するため、コンサルタントや建設業者、材料メーカーなどが協力し、技術

を応用した各種工法を開発、

実用化してきた。

研究会では、より良い施工品質、環境負荷と施工費の低減、施工効率の向上を目指すとともに、気泡安定液や高吸水性ポリマー安定液の特長を生かし、より多くの建設工事に幅広く適用するための応用研究も行っていく。事務局は、大洋基礎工業東京支店(東京都品川区)内に置く。会員企業は次のとおり(50音順)。

▽特別会員 大洋基礎工業、戸田建設、ハザマ、前田建設、マクマ▽正会員 青山機工、三東工業社、とがわ商事、ミヤマ工業、菱備基礎▽賛助会員 KGFフロートクノ、ソータニッカ、双葉リース、フローリック。

25.3.1

建設通信新聞 (3)

# 気泡工法研究会が設立

## 普及、技術開発を推進

気泡工法の普及や技術開発を推進するため、早稲田大学のバックアップのもとに建設業者が中心となり、「気泡工法研究会」（会長・秋場俊一、戸田建設常務執行役員本社土木営業統轄部長）が2月26日に設立した。

気泡工法(AWARD工法)は建設工事の環境負荷を低減し、施工費を低減させるために開発された地盤掘削工法。基礎理論は早稲田大学理工学術院の赤木寛一教授等による基礎研究から生まれたもの。この基礎理論を実際の現場に適用するためにコンサルタント、建設業者、材料メーカー等が協力して、各種の工法を開発し実用化した。

同研究会は、気泡工法の応用研究に積極的に関わり、工法の技術レベルの向

上、普及を推進し、社会の役に立つことを目的に参集した民間企業からなる組織。これまでの基礎研究、応用研究等を得られた産業財産権を広く社会に役立てるため、工法開発に参画した企業のみならず、各種の気泡工法の実施を希望する会員企業に開放する。

気泡工法は、気泡安定液の優れた特性を各種の地盤掘削工法に応用した施工技術の総称。現在実用化されている工法としては、気泡安定液を使用して等厚式ソイルセメント地中連続壁を構築する工法「AWARD-Trend工法」、気泡安定液を使用して柱列式ソイルセメント地中連続壁を構築する工法「AWARD-Cew工法」、気泡安定液を使用して柱列状の改良杭や液状化防止用の地中連続壁を構築する深層地盤改良工法「AWARD-Demi工法」、現場打ち杭やコンクリート地中連続壁などの地盤掘削置換型工法の改善を目的として開発した技術で、気泡ではなく特殊高吸水性ポリマーを主剤とした掘削安定液でコンクリート品質の向上、環境負荷および施工費の低減を実現する、高吸水性ポ

リマー安定液工法「AWARD-Sapli工法」がある。

同研究会では、よりの良い施工品質、環境負荷の低減、施工費の低減、施工効率の向上をめざすと共に、気泡安定液や高吸水性ポリマー安定液の特徴を生かし、よりの多くの建設工事に幅広く適用するための応用研究も行っていく。会員企業は次の通り。

【特別会員】**大洋基礎工業**、**戸田建設**、**ハザマ**、**前田建設**、**マクマ**

【正会員】**青山機工**、**三東工業社**、**とがわ商事**、**シヤマ工業**、**菱備基礎**

【賛助会員】**KGフローテクノ**、**ソーダニッカ**、**双葉リース**、**フロリック**

25. 3. 1

日刊建設産業新聞 (2)